

地域ケアプラザ（以下「CP」）の地域活動交流コーディネーター（以下「Co」）の養成にかかわってこられたお2人に、その思いをお聞きました。

## Coをサポートしていくために

横浜市社会福祉協議会 地域福祉課長  
仲丸 等

私は社会福祉協議会（以下「社協」）に勤め30年になりますが、CPの前身である在宅支援サービスセンターが設置され、そこに本市独自のCoが配置され、共に地域福祉を推進するパートナーが増えたことを心強く思っていました。

その後、平成13年より二ツ橋CPの所長として勤務していた時には、区社協とCPの連携が重要であることを現場で実感していました。当初からCoには資格要件が無く、その育成についても各受託法人の責任で行われており、市域のシステムが無いことに危機感を感じていました。

そのような思いをいただいていたところ、平成16年頃より、地域福祉コーディネーター養成研修のリーディング事業において、Coの養成に関わることになりました。基礎編（初任者向け）、応用編（3年目以降向け）という研修を設け、階層別の研修を、継続的に受けられる環境が整ったことは、Co養成の大きな一歩であったと思います。

Coには、地域において住民の福祉課題・生活課題をみつけ、そこで暮らす人々と共に、課題解決に取り組む

ことが求められます。地域課題は多種多様であり、その解決の方法も多岐に渡ります。「これをこのようにやってください」と決めてしまうと、必要なことができなくなってしまう恐れもあり、Co養成の研修企画には慎重に取り組んできました。

現在の業務は、区社会福祉協議会の活動支援を担当しています。区社協は多くの区でCo連絡会の事務局を担っており、区域でCoと連携して、地域課題の解決にあたっています。18区社協で共有した情報を日頃から各区Co連絡会で提供するなど、区社協が持つネットワークをCoとつなげられることが強みです。これからも、社協の有力なパートナーとしてお互いの特徴を生かし地域課題に取り組むため、より一層連携を強化していく必要があると考えています。

今後の養成研修では、一定のプログラムを修了することで、Coとしての地位の裏付けとなるようなものになると良いと思っています。Coは、今後、社会からより一層、求められる存在だと思っています。Coが自信を持って仕事ができるよう、行政と共にサポートしていきたいと考えています。【談】

## Co養成に携わって

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター センター長  
佐塚 玲子

私は、東京と横浜のYMCA勤務を経て、平成14年まで、地域ケアプラザで、高齢者デイサービスの職員や在宅介護支援センターの相談員、Coをしていました。介護保険制度施行から数年がたっていましたが、現場では制度だけでは埋めきれない課題があり、それを地域の中で解決していく必要性を強く感じていました。そのような時にNPO法人市民セクターよこはま（当時）が、横浜市や横浜市社会福祉協議会と地域福祉コーディネーター養成研修の検討を行うことになったことをきっかけに、市民セクターよこはまの職員として、地域福祉コーディネーター養成研修のリーディング事業にかかわるようになりました。

これまでCo養成に関わってきた中で、Coには、制度を通じた支援と、地域を通じた支援を結びつけるという、福祉専門職としての強みを活かして欲しいと思っています。そのためには、「ニーズの発見」「地域課題の発見と解決方法の模索」「迅速なサービス提供を意識すること」が必要です。

福祉的な課題は年々増大しています。しかし、人の暮らしの中での課題は多種多様であり、福祉にとどまるものではありません。Coには、人の生活に係る経済、雇用、

教育、文化なども含めた社会の動向に関心を持ち、個人の問題と繋ぎ合わせた支援をすることや、他の分野の専門性にも目を向け、住民の強みを引き出す人であって欲しいと思います。養成研修は、このような考えから、国と市の施策、地域の状況、個人が抱える課題等といったマクロからメゾ、ミクロまで、幅広い視点を持つことができるような内容としてきました。実践力の向上として、自らの業務を地域の課題解決に向けて一体的に行うため、業務マネジメント力を高めることもポイントです。また、Coを引っ張っていく存在が現れることが、Coという職種の専門性を高めていく一助になると考え、その願いを上級編研修にこめました。

Coの仕事は、人の生活に寄り添い「いかに、人を幸せにできるか」といった気構えをもつことも大切であると思っています。こうした気持ちが地域の人に伝わり、心に働きかけることにつながるのではないかと思います。

Coは、国の制度で位置付けられた存在ではありませんが、今後社会全体でさらに必要とされる存在です。自信を持って頑張りたい。その活躍を支えていければと思います。【談】